

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和 2年 12月 16日

事業所名：ドレミ児童リハビリセンター

サービス種類：(例：児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・スペースは充分にあると思うが、生活介護が重なる時間は狭く感じる	できている 20件(67%) どちらでもない 3件(10%) できていない 1件(3%) わからない 6件(20%) ・広い方がいいと思う	・施設増設の検討
	2 職員の適切な配置	・児童の時間帯は送迎に出ているスタッフと入浴スタッフに分かれる為、人員不足を感じる ・担当スタッフを決めて分けているが、痙攣の可能性のある利用者の添乗員の配置や機能訓練の配置に不足を感じる時がある	できている 19件(63%) どちらでもない 2件(7%) できていない 1件(3%) わからない 8件(27%) ・楽しく過ごせていると思うが詳細は何とも意見できないので、子どもが過ごしている様子を見る機会がほしい ・セラピストの先生がいるところが心強い	・看護師、機能訓練指導員の人員確保を検討
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・スロープ、手すりなど車いすの対応はできている ・バリアフリー化は出来ている	できている 23件(76%) どちらでもない 0件(0%) できていない 0件(0%) わからない 7件(24%)	・現状維持
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・太陽の光も入り、心地よく過ごせている。清潔面に関しては、もう少し努力できると思う ・感染対策にアルコール消毒を行っている	できている 21件(70%) どちらでもない 5件(17%) できていない 0件(0%) わからない 4件(13%) ・広く清潔に整えられていて活動に集中しやすい環境	・こまめなアルコール消毒の再確認と徹底
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・サービス提供後はその日の様子を連絡ノートを通して伝えることはできている。会議で話し合った内容は全員に周知出来ている ・月一回の会議を行っているが、積極的ではない		・積極的な参画の呼びかけ
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・出来ない		・第三者による外部評価の検討
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・月一回のケース会議、随時セラピストより支援方法、ポディショニングの研修		・現状維持
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・できている。利用者や保護者のニーズを踏まえて計画書を作成している ・保護者の意見や要望はカンファレンスで周知している	できている 27件(90%) どちらでもない 2件(7%) できていない 0件(0%) わからない 1件(3%) ・子供たちが楽しんで取り組めるよう、また自立につながる活動を考えてくださったり、子ども達と話し合っって実行して下さっている点が良いと思っている。	・現状に満足せず、さらに深めていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・状況の変化をカンファレンスで周知している		・適時計画書を見直し利用者にあったサービス提供を行う
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・行っているが、まだ不十分である		・適時計画書を見直し利用者にあったサービス提供を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・行っているが、まだ不十分である	できている 25件(83%) どちらでもない 2件(7%) できていない 0件(0%) わからない 3件(10%)	・適時計画書を見直し利用者にあったサービス提供を行う
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・重心以外の放課後等デイサービスは行えているが、重心の放課後等デイサービスは個別での対応が主である		・重心の放課後等デイサービスの活動の検討
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・送迎の対応や、昼食が自宅で食べられない時は配慮し対応している	できている 21件(70%) どちらでもない 4件(13%) できていない 0件(0%) わからない 5件(17%) ・休日は朝からみていただくと助かります。	・現状維持
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・重心以外の放課後等デイサービスは色んな活動が行えるようにしてる ・重心の放課後等デイサービスは現在、検討中。スノーズレンを行っているが、今後は話し合いを重ね、続けていく予定		・重心の放課後等デイサービスの活動の検討
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日スタッフ配置表があり、それを見て動いている		・現状維持
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・ノートで共有している ・特に大切なことは、随時カンファレンスを行い話合っている		・現状維持
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・毎日、カルテの記載を行っている		・現状維持
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・できていない。 ・今後、計画書、モニタリング等見直しを行い、改善していく		・今後、計画書、モニタリング等見直しを行い、改善していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・出来ている。セラピスト、看護師が参加している		・現状維持
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・できている		・こちらからアプローチし連携をとっていく
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・できている		・現状維持
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・できていない		・こちらからアプローチし連携をとっていく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・できている。生活介護、就Bの案内をしている		・現状維持
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・適時、受講している		・現状維持
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・できてない	できている 3件(10%) どちらでもない 2件(7%) できていない 4件(13%) わからない 21件(70%) ・なされていたら周知していないですが、あまり機会はないのかな ・放デイの利用以外は児童クラブを利用しています	・検討
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・できていない		・検討

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・見学、契約時に必ず説明している	できている 28件(93%) どちらでもない 2件(7%) できていない 0件(0%) わからない 0件(0%)	・現状維持
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・計画書作成に伴い、保護者とも話をしている ・計画書の説明が不十分である	できている 28件(94%) どちらでもない 1件(3%) できていない 0件(0%) わからない 1件(3%)	・渡し方について検討していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・できていない	できている 17件(56%) どちらでもない 8件(27%) できていない 0件(0%) わからない 5件(17%) ・モニタリングで色々相談はさせて頂けますが、そのことでしょうか	・積極的に行っていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・電話や、直接会って話す機会を作れている	できている 24件(80%) どちらでもない 5件(17%) できていない 1件(3%) わからない 0件(0%) ・ノートや送迎時に子供の様子を良かったところも課題面も伝えてくださっている	・全利用者様深めていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・電話や、直接会って話す機会を作れている	できている 24件(80%) どちらでもない 5件(17%) できていない 1件(3%) わからない 0件(0%)	・現状維持
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・できていない	できている 0件(0%) どちらでもない 8件(27%) できていない 9件(30%) わからない 13件(43%) ・他の保護者の方と話す機会があれば良いと思う	・検討
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・できている ・苦情対応記録の作成、スタッフでの話し合い改善策を共有している	できている 20件(67%) どちらでもない 4件(13%) できていない 0件(0%) わからない 6件(20%) ・特にトラブル、苦情がないのでわからない	・現状維持
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・行っているが不十分	できている 22件(73%) どちらでもない 5件(17%) できていない 1件(3%) わからない 2件(7%)	・保護者と話す機会をもう少し増やせるよう検討する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・ドレミ通信を発行している	できている 15件(50%) どちらでもない 9件(30%) できていない 0件(0%) わからない 6件(20%) ・もう少し発信がほしい ・祝日営業について等早く知りたい	・現状維持
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報、2階事務所の鍵付きの棚に保管してある	できている 28件(93%) どちらでもない 0件(0%) できていない 0件(0%) わからない 2件(7%)	・現状維持
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルは作成し、スタッフで共有している。保護者へは、契約時に必ず説明している	できている 26件(87%) どちらでもない 1件(3%) できていない 0件(0%) わからない 3件(10%)	・現状維持
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・水害時避難訓練を年1回、消防訓練を年2回行っている ・もっと詳しく話をつめる必要がある	できている 16件(54%) どちらでもない 1件(3%) できていない 0件(0%) わからない 13件(43%) ・わが子の利用日にたまたま実施されていないだけかもしれない	・さらに話し合いを重ね、災害に備えていく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・研修も大事だが、職員の人数が大切だと思う ・年に数回会議を行っている		・人員配置の見直し ・話し合いの内容を深める
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束を行う場合は、保護者に説明を行い、同意をいただいている ・計画書にも記載している		・現状維持
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・アレルギーに対しては、契約時に親からの聞き取りであり、医者からの指示ではない		・検討
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例が起こった場合には適時カンファレンスを行い、改善案を話し合っている		・現状維持